

二名の解雇撤回！ロックアウト粉碎！原職奪還！  
暴力ガードマン追放！御用2組解体！工場移転合理化阻止！

動労千葉の各支部へは、6月4日(金)を中心に、全金  
本山労組オルグ員と動労千葉本部担当役員が販売協力要  
請の取場訪問を行います。「全員で支え、学び、連帯しよう」と合言葉「ガン  
ロー」

『一人はみんなのため  
みんなは一人のため』

# 全金本山労働組合の'85夏季販売にご協力を!!

全ての取場から、全員の力で、

## 本山の兄弟を支えよう

会社側の不当解雇・工場移転大合理化へ向けた組合つがしの悪らつ非道な攻撃に抗して、15年間にわたって不屈・非妥協に闘い続けてきた全金本山労組の兄弟たちの闘いと生活は、真の労働者魂をさし示すすばらしいしかし最もきびしい闘いです。2名の仲間への不当解雇を撤回させ、仲間として生きる差別のない労働現場をとりもどすために、今なお33名の組合員が12年半という長期不当ロックアウト(全員の取場排除・完全無給状態)攻撃にめげず、家族ぐるみでの闘い・アルバイト・物資販売等を軸に、「平均年令37才、手取り平均九万五千円」「生活費を自己申告制で共有化」というギリギリの厳しい闘いを勝ちぬいていきます。その上で、三里塚支援・動労千葉支援をやりぬく本山の兄弟の闘いに学び、連帯し、全力で支えようではありませんか。全員の御協力を。

### 本山闘争支援夏季物資 販売の取り組み要請

中曽根内閣を先頭とする支配者階級による大反動攻勢、生活破壊、労働運動の「産業報国会」化攻撃が吹き荒れているなか、連日のご奮闘ご苦労さまです。また、この間の本山闘争に対する物心両面にわたる温かいご支援連帯ありがとうございます。

おかげさまで私たちは、一九七一年三月の青柳充・元副委員長(現書記長)への解雇攻撃をはじめとする工場移転首切り大合理化へ向けた本山資本による組合つぶし攻撃(組合丸抱え策動・分裂・暴力ガードマン導入・熊谷組合員解雇・組合員全員ロックアウト・別棟隔離就職攻撃・団交員襲撃など)、八〇名にもおよぶ不当逮捕、弾圧に対し、「一人の首切りも許さない」を合い言葉に労働組合の存在をかけた、茨の道をふみこえて十五年目を意気軒高に闘い抜いています。

一九八一年三月に本山秀夫社長が失脚し、「会社再建」を掲げて本山重幸社長が登場したが、会社は四期連続赤字となり、この危機的現状を打開するために今年二月に大巾な機構改革(労務担当常務・二郷を始めとして技術、生産、営業担当の取締役五人が辞任や責任をとる。事業部制採用)を行い、大衡村に新製品の半導体製造用バルブの製造工場棟建設を打ち出し、第二組合幹部と謀って昨年並みの年収と引き換えに臨時・嘱託・パートの首切りを出してきています。本山闘争は、まさに決戦的段階を迎えています。

私たちは会社内が大ゆれにゆれているこの機を逃さず、連続的な闘いでもって、本山資本に「争議解決以外に道はない」ことを突きつけ、二組労働者には「闘うことなくして権利、生活、首も防衛できないことと私たちの一人の首切りも許さない」闘いへの合流以外にないことを知らしめ、解雇撤回、ロックアウト粉碎・原職奪還を軸とする本山闘争勝利へ奮闘する決意です。そのための財政確立が不可欠の課題です。十二年半にもおよぶ取場からの排除・経済封鎖という長期ロックアウト攻撃下、私たちはアルバイト・販売・カンパで財政をブールし、生活費を自己申告制で共有化して闘い抜いてきました。

皆さまにおかれましても大変な状況かと思えますが、決戦的段階を迎えている本山闘争の財政確立のため、夏季物資販売活動に絶大なご協力をいただきたく要請申し上げます。なお、当労組オルグ員が見本を持参して要請にお伺いした際にはよろしくお願い致します。

一九八五年 五月

全金本山労働組合  
執行委員長 八重樫 友美



これが闘いだ、これが本物の団結だ。意気軒高と闘う全金本山労組の兄弟たち(85年)

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!

# 日刊 動労千葉

85.6.3

No. 1954

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六)・(公衆)〇四七二(22)七二〇七